小学校蕎麦刈り体験

▲収穫した蕎麦を皆で観察

９月21日、湯原地区の山田益弘さんの畑で、七ヶ宿小学校３・４年生による蕎麦刈り体験が行われました。７月16日に植えた蕎麦は、児童の背丈ほどに育っており、子供達は蕎麦の中に分け入って一生懸命刈り取っていました。子供たちからは、「大きいのが取れた」「美味しい蕎麦ができるといいな」といった声が聞かれました。今後、今回刈った蕎麦を使った蕎麦打ち体験も予定されています。

たわわに実った稲の収穫

▲刈り取った稲を積む様子

９月24日、七ヶ宿小学校の児童が５月に植えた「七ヶ宿源流米」の収穫を行いました。講師の八島さんや地域の方々に刈り取り方や束ね方を学び、最後に、くいがけという方法で稲を重ねていきました。児童は「給食で食べるのが楽しみ」「こんなに獲れたよ」と嬉しそうに話していました。八島さんは「一粒一粒のお米を大事に食べて欲しい」と話していました。源流米は今後給食で提供される予定です。

交通死亡事故ゼロ２年間達成！

▲左から関駐在所澤田所長、白石警察署遠藤交通課長、白石警察署鈴木署長
小関町長、白石地区交通安全協会七ヶ宿支部今野支部長、斎藤副町長

町の交通死亡事故ゼロの日数が９月27日で２年を達成しました。９月28日に白石警察署の鈴木愼二署長から 宮城県警察本部長「祝詞」が伝達されました。更なる記録の延伸を目指して、これからも交通安全関係者、団体の連携のもと、町民一丸となって交通事故防止に努めましょう。また、夕暮れ時刻が早まっているので、運転、歩行等には十分注意しましょう。

100歳おめでとうございます！

▲ご家族と町長に囲まれて微笑む太田まさ子さん

10月６日、大正10年生まれの太田まさ子さんが満100歳の誕生日を迎えられ、町長が関地区の自宅を訪問して特別敬老祝い金などを贈呈しました。まさ子さんは歌を聞いたり、水戸黄門を見たりすることや、お孫さんのことが大好きだそうです。はっきりとお話をされ、100歳とは思えないほど元気に過ごされていています。これからも健康に、長生きしていただきたいと思います。

県庁ロビー販売会開催

▲炭を使ったクッキーなど

10月７日、宮城県庁ロビーで「食材王国みやぎ」の推進として、県内食材の発掘やPRを兼ねた地場産品販売会が開催されました。町からは峠田地区にある「すみやのくらし」の佐藤光夫さんが、炭のパウダーを練りこんだ自慢のお菓子を出品しました。商品を珍しそうに見る方や、佐藤さんの活躍をご存じで、本人に会えて感激される方など多くの方が来店され、閉店予定時刻を待たずにすべての商品が完売となるほどの大盛況となりました。

「こ～ぷの森」契約締結式

▲左からみやぎ生活協同組合 大越代表理事、小関町長

10月12日、町とみやぎ生協による「こ～ぷの森分収造林契約」が締結されました。「こ～ぷの森」とは、みやぎ生協が宮城の自然と緑を豊かにする活動として1992年から開始したプロジェクトで、県内各地に植林を行っています。「こ～ぷの森」としては14カ所目で、東谷地山の町有林(1.6391ヘクタール)について分収造林契約※１を結びました。今後、町とみやぎ生協が協同で、植林や下刈りなど様々な環境保全活動を進めていきます。

※１　所定の割合に応じて将来の収益を分配する契約